

環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本方針の
作成に関する意見

平成 16 年 5 月 31 日
武蔵野市長 土屋正忠

- 1 地球が危ないー誤てる環境教育
- 2 狭義の環境教育は必要か
自然科学、社会科学、文学、芸術、哲学の中にある
- 3 体験教育の実践例
セカンドスクール
- 4 エコスクール
大野田小学校

武蔵野市及び市役所の概要

(1) 武蔵野市の地域特性

1) 位置、面積

東京都特別区の西端に接し、新宿新都心から約 1 2 km 西方に位置する。

市の面積は、1 0 . 7 3 平方キロメートル。

標高は、5 0 ~ 6 5 メートル (市役所は 5 6 . 9 8 メートル) 。

地形は、総じて平面。

2) 人口、世帯数

人口 1 3 万 1 6 5 9 人、世帯数 6 万 7 1 5 3 世帯。(平成 16 年 5 月 1 日現在)

人口は、昭和 4 0 年代からほぼ横這いで、世帯数は微増傾向にある。

人口密度は、1 平方 km 当たり 1 2 , 2 3 6 人 (平成 16 年 1 月 1 日現在) であり、蕨市 (埼玉県) について全国 2 番目に高い。

3) 主な地域の特性

市としては、全国で 1 5 番目に狭く、そのほとんどが住宅地や商業地として利用されている。

住宅、商業などの都市的土地利用が約 9 5 %、農地等の自然的土地利用は約 5 % であり、住宅が中心の土地利用構造となっている。

都市基盤は一定水準まで整備されており、成熟した市街地が形成されている。

産業構造は第 3 次産業従事者の割合が全体の約 8 割と、商業が中心となっている。

(2) 市役所の概要

武蔵野市役所は、本庁舎を中心に市政センター (3 箇所)、クリーンセンター (ごみ焼却場)、浄水場 (2 箇所)、給食調理場 (2 箇所)、小学校 (1 2 校)、中学校 (6 校)、保育園 (9 園) 等の 8 0 余りの公共施設により構成されている地方公共団体である。職員数は 1 , 1 3 5 人である。(派遣等職員を含む。平成 16 年 5 月 1 日現在)

武蔵野市の環境関連施策《年表》

元号	西暦	施策名
昭和 58	1983	公園条例制定
昭和 60	1985	みどりの保護育成と緑化推進に関する条例制定
昭和 61	1986	玉川上水清流復活
昭和 62	1987	電気自動車の導入（環境庁指定第 1 号）
昭和 63	1988	エコオフィスの取り組み開始 * 庁内での古紙回収、リサイクルボックスの使用など
		公園緑化基金条例公布
平成 1	1989	千川上水清流復活
平成 3	1991	ロシア連邦ハバロフスク市との青少年交流開始 * パードウォッチング、自然体験
平成 4	1992	電動スクーター（9 台）の導入
平成 5	1993	廃棄物の抑制・再利用と適正処理及びまちの美化に関する条例制定
		国際環境自治体協議会（ICLEI）加盟
平成 6	1994	「大木・シンボルツリー 2000 計画」策定 * 21 世紀に残したい街のシンボル大木 2000 本指定
		市庁舎太陽光発電システム（1.8 kW）稼働
		雨水浸透施設設置助成制度開始
平成 7	1995	コミュニティバス「ムーバス」運行開始 * 自家用車より環境負荷の少ない交通機関の導入
		全市立小学校で「セカンドスクール」実施 * 学期中に農村などで長期の集団宿泊生活を経験
平成 8	1996	グリーン購入推進指針策定
平成 9	1997	みどりの基本計画策定
平成 10	1998	ロシア連邦ハバロフスク地方への市民植林団派遣
		市立小学校校庭にビオトープ設置開始
平成 11	1999	環境基本条例制定
		環境基本計画策定
平成 12	2000	市庁舎等環境マネジメントシステム ISO14001 認証取得
平成 13	2001	市立商工会館に燃料電池（4.5 kW）設置
平成 14	2002	住宅用太陽光発電施設設置助成制度開始
		二俣尾（東京青梅市）・武蔵野市民の森整備事業開始
		親子棚田体験事業（新潟県小国町）開始
平成 15	2003	「グリーンパートナー事業」開始 * 中小事業者向け「簡易版 ISO14001」
		地球温暖化防止対策実行計画策定
		公立保育園「涼」環境創出プロジェクト開始 * 冷房機器に頼らず夏を過ごせる園舎改修
		家族長期自然体験事業（鳥取県）開始
平成 16	2004	地球温暖化防止のための環境行動計画策定